

第3分科会 学校・家庭・地域の  
連携協力

共育コミュニティづくり  
～広がりの中から見えてきたこと～

討議のポイント 子どもも大人も共に育ち、育て合う地域コミュニティを  
めざして

問題提起者	和歌山県上富田町教育委員会生涯学習課 地域共育コーディネーター	松本 輝子
助言者	和歌山大学地域連携・生涯学習センター センター長・教授	出口 寿久
司会者	兵庫県西宮市社会教育委員	赤尾 勝己
運営責任者	兵庫県尼崎市社会教育委員	野村カヤ子
運営担当者	兵庫県西宮市教育委員会社会教育課	川西 栄治
記録者	兵庫県尼崎市教育委員会社会教育課	中谷 仁美

会場 南館B1 エメラルド



第 3 分科会 学校・家庭・地域の連携協力

テーマ 共育コミュニティづくり  
～広がりの中から見えてきたこと～

和歌山県上富田町教育委員会生涯学習課  
上富田町共育コミュニティ推進本部  
地域共育コーディネーター 松本 輝子  
(上富田町社会教育委員)

1・上富田町の紹介

「豊かです。水も緑も人情も！」がキャッチフレーズの上富田町は、古来より熊野古道の入り口ということから、「口熊野」と呼ばれています。和歌山県の南西部に位置し、田辺市や白浜町に隣接した人口約1万5千人の町で、町内には5小学校・1中学校、1高等学校・支援学校があります。

著名人	坂本冬美 演歌歌手 小嶋淳司 現会長 がんこフードサービス創業者
スポーツ振興	アディダス紀州口熊野マラソン・和歌山県唯一の公認コース 阪神タイガース ・ ウェスタンリーグ公式戦
地場産業	紀州南紅梅・みかんなどの果樹栽培・梅加工品・ボタン製品など



2・和歌山県「きのくに共育コミュニティ」について

和歌山県教育委員会では、学校・家庭・地域が一体となって、子どもの豊かな育ちや学びを支える「きのくに共育コミュニティ」の取組を進めています。「共育」とは、和歌山県が「子どもも大人も共に育ち、育て合う」という意味（願い）を込めてつくった言葉です。

現在、各市町村において推進本部を設置しそれぞれ特色ある取組を展開中です。地域共育コーディネーターは県内に約40名おり、学校と地域の想いや願いをつなげています。

(1) 上富田町共育コミュニティ推進本部の取組経過

平成20年度・国の学校支援本部事業を活用し委託事業として開始、フォーラムを開催する  
平成21年度・地域共育コーディネーターを1名配置、生馬地域共育コミュニティ本部設置  
平成22年度・地域共育コーディネーターを2名体制、全町実施を目標に取組を広げていく  
平成23年度・補助事業として取組を継続・発展・全町実施達成  
平成24年度・町単独事業として取組を継続・各校において事業を展開中

(2) 共育コミュニティ推進事業・事例紹介（配布資料参照：コーディネーターだより）

クラブ活動支援・学習支援・体験学習  
地域交流・小中交流・通学合宿・寺子屋塾  
町フラワータウン交流事業など・・・



3・コーディネーターとして関わり、見えてきたもの

(1) 取組を通じ・・・

- ・子どもの変化 挨拶から会話へ・地域に響く声・なりたい自分像
- ・地域の変化 学校への関心・生きがい・生涯学習の成果を生かす場
- ・学校の変化 充実した授業づくり・地域に開かれた学校として

(2) 継続・連携する事の大切さ

- ・地域同士で新たなつながり
- ・町内の各種団体との連携

(3) 課題をステップに、次のステージへ・・・

- ・「きっかけづくり」をどう生かせるか
- ・「あとがまづくり」をつくる仕掛け
- ・「学校が地域に出るチャンス」づくり
- ・「つながることの心地よさ」の仕掛け



(4) 学校・地域・家庭が求めているもの

- ・地域に開かれた学校づくりの向こう側
- ・顔見知りの地域づくりの向こう側
- ・安心した子育てづくりの向こう側

子ども達の未来像づくり

災害時の連携体制

家族・先生以外の大人との関わり

4・終わりに

- ・コーディネーターの想い・願い
- ・これからも、広がりの中から生まれる  
ドラマをつくり続けるために・・・



# かみとんだ 共育コミュニティ コーディネーターだより

総集編

## ボランティアさんの声

- ・子ども達が真面目に取り組んでくれたのでうれしかったです。
- ・ボランティアさせてもらえてありがとう。学校に行けることが楽しく思えました。
- ・少しでも役に立てて良かったよ。子ども達の笑顔に元気もらったよ。
- ・30年ぶりに学校に足を運びました。よい機会をもらったよ。
- ・熱心に学習しようとする子ども達の意気込みに圧倒されるような、そして楽しいひと時でした。
- ・学校の行き帰りに声を掛けてくれるようになり仲良しになりました。みんな地域の子も達です。
- ・子ども達からお礼の手紙が届きました。うれしくて何度も何度も読みました。
- ・来年も声掛けてよ、おばあちゃん元気で長生きしとくらね。

## 子どもの声

- ・最初、クラブ活動が苦手でしたがボランティアさんがわからないところを優しく教えてくれたので、クラブの時間が楽しみにになりました。
- ・地域の先生に切り絵を教えてもらいました。「うまい、うまい。すごいなあ」と言ってもらえたのがすごくうれしかったです。僕の家が近くなので、機会があればまた教えてもらいたいです。
- ・サッカークラブに入って地域の先生から学んだことは、人任せにしないで自分が動いてチャンスを作ることです。いろんなことを教えてもらったので、とても楽しかったです。

## コーディネーターの声

今年度も、交流学習や体験学習を通し多くの地域の方々から上富田の地域力をたくさん感じさせてもらうことが出来ました。継続することでつながりが確かなものとなり、広がりからたくさんの学びをもらっています。子ども達が先生でも親でもない「地域の大人」との関わりから、気付きや気持ちを学ぶことって大事だと思っています。上富田のいいところを子ども達にたくさん感じて欲しいです。そして、これからも地域の想いを学校に届け、学校と地域が「やってよかったなあ」と思ってもらえるようなお手伝いがあると嬉しいです。

また、県内の各地域でも「和歌山コーディネーターズ」が地域と学校をつなぐお手伝いをしています。子ども達の笑顔が地域を動かし、私たちコーディネーターも元気にしてくれるから頑張ろうと思うのです。

## 学校の声

「地域の方々と交流を深める場面を増やしたい」そんな本校の願いを全面的にサポートして頂き、クラブ活動や総合的な学習を中心に、招いた講師は40名近くになりました。

こうした取り組みを10年、20年と継続し発展させながら、学校地域ぐるみで子どもたちを育てていく仕組みを築いていきたいと思っています。

朝来小学校



## 共育ボランティア募集

当共育コミュニティ事業では、お手伝いをいただける地域の方(「共育ボランティア」と呼びます)を募集しています。詳しくは下記の通りです。

### 共育ボランティアとは

子どもたちの教育のために役立ちたいという熱い思いをもって、学校の要望に応じて行うボランティア活動のことを言います。

### 何をするのか?

ゲストティーチャーであったり、学習支援であったり、学校の要望によって様々な関わり方があります。自分の趣味や特技を生かした活動を行うことができます。

### その他

学校の要望と皆様の要望とが一致し、日程・時間の都合が合う時にお受けいただける場合があります。

その他、ご質問等ございましたら教育委員会までご連絡ください。

子どもたちとふれあう  
時間を増やしてみませんか?



## 共育コミュニティとは?

コーディネーター

学校

コーディネーター

地域

地域の子どもと大人が 共に育ち、  
育て合う 共通の願い

共育コミュニティとは、学校・家庭・地域が一体となって、子どもたちを心豊かに育む取り組みです。

共育コミュニティの「共育」は子どもと大人が共に育ち、育て合うという意味で創られた言葉です。



つながる

ひろがる

## 共育の輪!!

お問い合わせ先  
上富田町教育委員会 TEL 47-5930

上富田町教育委員会  
上富田町共育コミュニティ推進本部

# 取組紹介

平成23年度 活動状況				
学期	取組数(回)		ボランティア数(人)	
	22年度(比較)	23年度	22年度(比較)	23年度
1学期	29	41	153	344
2学期	33	57	135	338
3学期	25	24	87	102
合計	87	122	375	784

## 小中陸上交流

上富田中学校と町内5つの小学校が連携して、郡陸上競技大会の練習時に陸上部員がそれぞれの母校を訪問して、各競技別に指導してくれました。部員たちは自分がいつも注意しているところを丁寧に教えてくれたり、「見ていてよ～」と模範披露してくれたり、とても良い交流ができました。



## クラブ活動支援

小学4・5・6年生の児童がグループをつくり、地域の先生と一緒にクラブ活動をしています。日本の伝統的文化に触れたり、技術向上より楽しみながら意欲的に取り組んだりしている子どもたちの姿があります。地域の方々との温かい交流の時間ともなっており、地域からたくさんの学びをもらっています。



## 地域交流学習

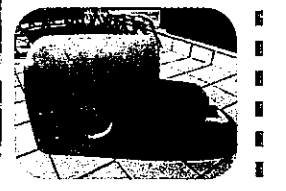
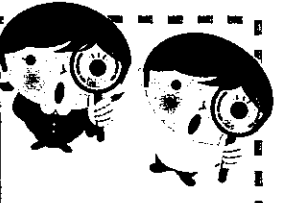
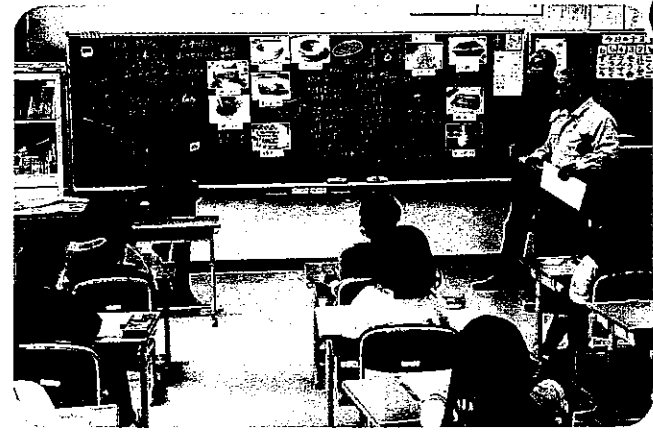
子どもたちと地域のおじいさんやおばあさんたちが、お手玉・あやとり・おはじきなど昔の遊び道具を使っての交流会をしました。また、竹とんぼやコマ・竹鉄砲・福笑いなど、手作りの遊び道具も用意してくれるなど地域の温かさを感じることができました。



## 社会科支援

### 昔の暮らし学習

地域の方々から昔の生活道具の紹介やくらしの様子を教えてくださいました。便利な今の生活しか知らない子どもたちは、井戸から水をくんだり、お風呂を薪で沸かしたりしていたことにびっくり！最後に、昔の良さとお今の良さがあることも教えてくださいました。



### 戦争体験学習

戦時中の生活、戦地での体験談をグループで聞き、教科書では分からない戦時中の様子を知ることができました。そして、今のくらしとの違いや平和の大切さ、当時の人々の気持ちも学ぶことができました。



### 地域体験学習

県内や自分たちの町で作られている野菜や果物などの食べ物を作る人々の仕事の様子について学びました。野菜作りの工夫や苦勞・努力されている話を聞き、レタス畑の見学や大根の収穫体験もあり充実した授業となりました。

